

平成30年度 教科名 美術科 第1学年 年間指導計画案・評価計画 作成者(平野)

月	分野	題材および学習内容	時数	学習のねらい	第1観点	第2観点	第3観点	第4観点
					関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
四月	リエンテーション	自己紹介、色のマジック	1	○色のマジックを見て、色について興味を持つ。	○色について興味を持つ。			
五月	デザイン	色の学習 十二色相環を作る	4	○色の性質を学び、混色して塗ることや、アクリル絵の具の使い方になれる。	○積極的に学習し、楽しく制作する。 【活動の観察、ノート、テスト】	○混色しできる色をイメージし、制作する。 【ワークシート】	○学習した色の性質に合わせて、丁寧に混色し美しく塗る。 【ワークシート】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進捗表】
	デザイン	時間割をつくろう	5	○明朝体・ゴシック体やレタリング技術を学び、クラスの時間割を共同制作する。	○意欲的に課題に取り組み、積極的に学習し、制作する。 【活動の観察、ノートテスト】	○レタリングの背景をアクリル絵の具の特徴を考えてデザインする。 【作品】	○字体の特徴を理解し、美しくレタリングする。 ○技法を理解し、個性豊かな背景を制作する。 【作品】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進捗表、ワークシート、自己評価表】
六月	工芸	陶芸に親しもう	2	○日常に使うもの(マグカップ)を自分で作り、陶芸の基本技術を知るとともに、陶芸の良さを味わう	○積極的に学習し、陶芸の基礎技術を知り、制作する。 【活動の観察、】	○統計の基礎技術を理解し、工夫をし、制作する。 【作品】	○板作りを理解し、制作する。 【作品、テスト】	○日常使う作品を作り、自分の作品を味あわせる。 【自己評価表、テスト】
七月		陶芸に親しもう	2	○釉薬付けの理論を知り、デザイン、色合いを工夫し、釉薬付けをする。	○意欲的に課題に取り組み、積極的に学習し、制作する。 【活動の観察】	○釉付けの理論を知り、デザインを工夫する。 【作品】	○釉付けの理論を知り、デザインを工夫し、制作する。 【作品】	○できあがった自他の作品を味あうことで、釉薬の効果を理解する。 【作品、自己評価表】
九月	工芸	モダンアートテクニックを学ぼう	3	○10種類のモダンアートテクニックを学び、技法を使って作品ができるように練習する。	○積極的に学習し、技法を理解し、表現する。 【活動の観察、テスト】	○参考作品の表現を技法とあわせ理解する。 【テスト】	○10種類のモダンアートテクニックを理解し、制作する。 【作品】	○参考作品のどのような所に技法が使われているかを見ることによって自分の作品に生かす。
十月	デザイン	美術館で本物にふれよう 11月2日	2	○森美術館で主体的に作品に触れる	○意欲的に作品ふれる 【活動の観察、テスト】	○本物に触れ作品の意図を感じ取らせる。 【活動の観察、テスト】		○美術館で本物の作品に触れ、良さに気づかせる。 【ワークシート、テスト】
十月	鑑賞	木彫を楽しもう	15	○基本の彫りや飾り彫りを学び美しく彫って、木彫のレリーフを制作する。	○積極的に学習し、木彫の基礎技法を理解し、制作する。 【活動の観察、テスト】	○基礎技法を自分の表現にあわせて使うことができる。 【活動の観察、テスト】	○基礎技法を自分の表現にあわせて使うことができる。 【活動の観察、テスト】	【作品、自己評価表】 ○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。
十一月	工芸	陶芸に親しもう	2	○自分の作った作品を実際に使ってみてもの大切さを知る、陶芸の良さを味わう。	○自他の作品や、参考作品を積極的に味わう。 【活動の観察、自己評価表】			【進捗表、自己評価表】 ○自他の作品や、参考作品を味わい、陶芸の良さに気づき、自分の作品に生かす。 【活動の観察、自己評価表】
十二月	工芸	よく見て描こう	7	○鉛筆デッサンの基本を学び、よく見て描くことを身に付ける。	○デッサンの基礎技法を理解し、制作する。 【活動の観察、作品】	○基礎技法、構図の取り方を理解し、自分の表現したいものを構成する。 【作品】	○デッサンの基礎技法を理解し、制作する。 【活動の観察、作品、】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進捗表、自己評価表】
一月	絵画	ポスター制作 「良い歯のポスター」	2	○ポスターの基本を学び、発想豊かに表現することを身に付ける。	○意欲的に課題に取り組み、制作する。 【活動の観察、作品】	○課題に対して豊かな発想をもとに、構図の取り方や表現の技法を理解し、自分の表現したいものを構成する。 【作品】	○ポスターの基礎技法を理解し、制作する。 【活動の観察、作品、】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進捗表、自己評価表】
二月	絵画							
三月	絵画							

平成30年度 教科名 美術科 第2学年 年間指導計画案・評価計画 作成者 (平野)

月	分野	題材および学習内容	時数	学習のねらい	第1観点	第2観点	第3観点	第4観点
					関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
四月	リエンテーション	年間の予定と良い歯のポスター鑑賞	1	○自己紹介し、他者の作品を鑑賞する。	○良い歯のポスターを鑑賞し、作品の意図を感じ取る。 【自己評価カード】			○良い歯のポスターを鑑賞し、作品の意図を感じ取る。 【自己評価カード】
五月 六月	彫刻	本物に迫ろう	7	○身の回りの物を粘土で、大まかな形を塊でとらえ、形や色をよく見て本物に迫って制作する	○粘土に親しみ、作ることの楽しさを味わおうとする。 ○粘土の性質や道具を理解し、計画立て制作する。【活動の観察】	○楽しく作るために、意図的に何を作るか考えて制作する。 【活動の観察】	○大まかな形を塊でとらえ、本物に迫って形や色を見て表現する。 【作品】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進捗表】
七月	鑑賞	美術でよく使う言葉	1	○美術でよく使う言葉を理解し、使えるようにする	○美術でよく使う言葉を理解し、使えるようにする【活動の観察】			○美術でよく使う言葉を理解し、使えるようにする【活動の観察】
	鑑賞	西洋美術史を学ぼう	1	○西洋美術史の流れを理解し、表現の多様化を理解する。原始～中世	○積極的に学習し、西洋美術の流れを理解する。 【活動の観察、テスト】	○西洋美術にふれ、作品の裏にある背景を理解させる。 【活動の観察、テスト】		○西洋美術にふれ、作品の裏にある背景を理解させる。 【活動の観察、テスト】
九月	デザイン	コンクールに出そう	1	○明るい選挙啓発、薬物乱用防止の2つの中から題材を選び、表現豊かなポスターを意図的に制作する。	○準備や片付けを積極的に行い、提出日を守って制作する。 【活動の観察、提出状況】	○効果的な伝達デザインを発想する。 【下書き】	○伝えたい内容をわかりやすく印象的に伝えるデザインを工夫し製作する。 【作品】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進捗表】
	デザイン	ポスター「明るい選挙啓発ポスター」「薬物乱用防止ポスター」鑑賞	1	○クラス生徒の「明るい選挙啓発ポスター」「薬物乱用防止ポスター」を鑑賞する。	○クラスのポスターを鑑賞し主体的に味わう。 【自己評価カード 活動の観察、作品】	○どのような発想があるか感じ取らせる。 【自己・他者作品】		○自他の作品を鑑賞し、良さを感じとり、自分の作品に生かす。 【自己評価カード】
十月	絵画	版画の魅力を感じよう	2	○版の特徴を理解し、特長を生かし、表現する。	○積極的に学習し、凸版、凹版、孔版、平版、それぞれの版の特徴を理解し、制作する。 【活動の観察、作品】	○版画の基礎技法を理解し、版にあった題材を考える。 【作品】	○版画の基礎技法を理解し、版にあった表現をする。 【作品】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進捗表、自己評価表】
十一月	鑑賞	西洋美術史を学ぼう	1	○西洋美術史の流れを理解し、表現の多様化を理解する。 (ルネッサンス～近代)	○積極的に学習し、西洋美術の流れを理解する。 【活動の観察、テスト】	○西洋美術にふれ、作品の裏にある背景を理解させる。 【活動の観察、テスト】		○西洋美術にふれ、作品の裏にある背景を理解させる。 【活動の観察、テスト】
	鑑賞	美術館で本物にふれよう 10月19日	2	○国立西洋美術館で主体的に作品に触れる。	○意欲的に作品ふれる。 【活動の観察、テスト】	○本物の作品に触れ、作品の意図を感じ取らせる。 【活動の観察、テスト】		○美術館で本物の作品に触れ、良さに気づかせる。 【ワークシート、テスト】
一月 二月 三月	絵画	版画の魅力を感じよう	12	○版の特徴を理解し、特長を生かし、表現する。	○積極的に学習し、凸版、凹版、孔版、平版、それぞれの版の特徴を理解し、制作する。 【活動の観察、作品】	○版画の基礎技法を理解し、版にあった題材を考える。 【作品】	○版画の基礎技法を理解し、版にあった表現をする。 【作品】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進捗表、自己評価表】
	鑑賞	西洋美術史を学ぼう	1	○西洋美術史の流れを理解し、表現の多様化を理解する 印象派～現代	○積極的に学習し、西洋美術の流れを理解する。 【活動の観察、テスト】	○西洋美術にふれ、作品の裏にある背景を理解させる。 【活動の観察、テスト】		○西洋美術にふれ、作品の裏にある背景を理解させる。 【活動の観察、テスト】
	デザイン	アナモルフォーシス	5	○アナモルフォーシスのおもしろさ、変化のさせ方を理解する。	○変化の仕方を理解し、作品に意欲的に取り組む。活動の観察、テスト 【活動の観察、テスト】		○アクリルガッシュでの色塗りを徹底する。	○他者の作品を鑑賞することで、制作者の意図を感じ取らせる。 【活動の観察、テスト】

平成30年度 教科名 美術科 第3学年 年間指導計画案・評価計画 作成者(平野)

月	分野	題材および学習内容	時数	学習のねらい	第1観点	第2観点	第3観点	第4観点
					関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
四月	刈エンタージョン	年間の予定とアナモルフォーシス鑑賞	1	○年間の予定の確認と他者の作品を鑑賞する。	○アナモルフォーシスを鑑賞し、作品の意図を感じ取る。 【自己評価カード】			○アナモルフォーシスを鑑賞し、作品の意図を感じ取る。 【自己評価カード】
五月	絵画	透視図法を使った遠近感のある絵	1	○透視図法を学び、立体感や、遠近感のある絵を描けるようにする。	○意欲的に図法を学び、それぞれの特徴を活かし、制作する。 【活動の観察、】	○それぞれの図法が身近な広告、マンションなどに使われていることに気づかせる。 【宿題】	○それぞれの技法を描けるようにし、自分の作品に活かして、制作する。 【作品、テスト】	○自他の作品を味わい、それぞれの良さに気づかせる。 【作品】
六月	鑑賞	日本美術史を学ぼう	1	○日本美術史の流れを理解し、修学旅行とリンクし、表現の多様化を感じる。(縄文～平安)	○積極的に学習し、日本美術の流れを理解する。 【活動の観察、テスト】	○日本美術にふれ、作品の裏にある背景を理解する。 【活動の観察、テスト】		○日本美術にふれ、作品の裏にある背景を理解する。 【活動の観察、テスト】
七月	絵画	透視図法を使った遠近感のある絵	7	○透視図法を学び、立体感や、遠近感のある絵を描けるようにする。	○意欲的に図法を学び、それぞれの特徴を活かし、制作する。 【活動の観察、】	○それぞれの図法が身近な広告、マンションなどに使われていることに気づかせる。 【宿題】	○それぞれの技法を描けるようにし、自分の作品に活かして、制作する。 【作品、テスト】	○自他の作品を味わい、それぞれの良さに気づかせる。 【作品】
八月	デザイン	コンクールに出そう	1	○環境保全を訴える、表現豊かなポスターを意欲的に制作する。	○意欲的に制作をする ○提出日を守って制作する。 【活動の観察、提出状況】	○効果的な伝達デザインを発想する。 【下書き】	○伝えたい内容をわかりやすく印象的に伝えるデザインを工夫し製作する。 【作品】	○自他の作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進度表】
九月	デザイン	ポスター「環境保全ポスター」鑑賞	1	○クラス生徒の「環境保全ポスター」を鑑賞する	○クラスのポスターを鑑賞し主体的に味わう。	○どのような発想があるか感じ取らせる。 【自己・他者作品】		○自他の作品を鑑賞し、良さを感じとり、自分の作品に生かす。 【自己評価カード】
十月	鑑賞	日本美術史を学ぼう	1	○日本美術史の流れを理解し、表現の多様化を感じる。(鎌倉～江戸)	○積極的に学習し、日本美術の流れを理解する。 【活動の観察、テスト】	○日本美術にふれ、作品の裏にある背景を理解する。 【活動の観察、テスト】		○日本美術にふれ、作品の裏にある背景を理解する。 【活動の観察、テスト】
十月	鑑賞	美術館で本物にふれよう 9月14日	2	○国立近代美術館で主体的に作品に触れる。	○意欲的に作品ふれる。 【活動の観察、テスト】	○本物の作品に触れ、作品の意図を感じ取らせる。 【活動の観察、テスト】		○美術館で本物の作品に触れ、良さに気づかせる。 【ワークシート、テスト】
十一月	デザイン 工芸	ユニバーサルデザインを作ろう	11	○豊かな環境にするために、構想を練りデザインする。	○積極的に課題に対して取り組み、楽しく制作する。 【活動の観察、作品】	○身の回りの環境を豊かにするデザインを考える。 【作品】	○デザインをもとに素材を考え、立体制作をする。 【活動の観察、作品、】	○自他の作品や参考作品を鑑賞し、自分の作品に生かす。 【進度表、自己評価表】
十二月	デザイン	ピクトグラムを作ろう	2	○自分の伝えたいことを構想を練りデザインする。	○積極的に課題に対して取り組み、楽しく制作する。 【活動の観察、作品】	○作品がどのように他者に伝わるかを考えデザインを考える。 【作品】		○自他の作品を見てどのように感じたかを話し合わせる。 【自己評価表・ワークシート】
一月	鑑賞	作家研究をしよう	6	○興味をもった作家(画家、彫刻家、建築家、デザイナー)について調べまとめる。	○意欲的に課題に取り組む ○西洋、東洋の作家の中から興味のある作家を調べる。 【活動の観察、テスト】	○作家研究を通して作品の裏にある作家の考えや背景を理解する。 【活動の観察、テスト】	○作家研究をワープロソフトを使い、美しくレイアウトし、制作する。 【作品】	○自他の作品から作家の考えに触れる。 【活動の観察、テスト】
二月 三月	鑑賞	日本美術史を学ぼう	1	○日本美術史の流れを理解し、表現の多様化を感じる(鎌倉～江戸)	○積極的に学習し、日本美術の流れを理解する。 【活動の観察、テスト】	○日本美術にふれ、作品の裏にある背景を理解する。 【活動の観察、テスト】		○日本美術にふれ、作品の裏にある背景を理解する。 【活動の観察、テスト】

